

【学校教育目標】ふるさと中原と共に輝く志をもった生徒の育成～自律・協働・挑戦をキーワードとした学校づくりを通して～

令和7年度 みやき町立中原中学校 学校だよりNo.5



蒼鷹

～青空を大きく舞う鷹のように～

発行：令和7年12月23日（火） （文責）校長 川原

前号から2学期を振り返ってきました。引き続き主な出来事をお伝えします。

《生徒会 新役員任命式》10月22日

3年生から2年生へのバトン

新生徒会長の決意表明、すばらしかったですね。

その言葉の中には、「仲間とともに、よりよい学校をつくりていこう」という強い思いが込められていました。私は、その意欲と責任感に大いに期待しています。



《中学校体育大会～駅伝競技》11月7日

中学校体育大会 駅伝競技の県大会が行われ、本校からは女子チームが出場しました。全力を尽くしましたが、上

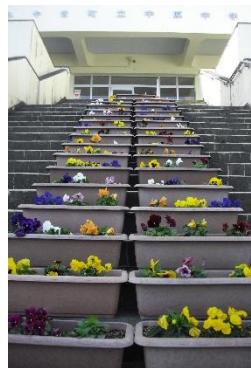


には上がり、強豪チームには及ぶませんでした。それでも全員完走。中原中の驕(たすき)を確実につないでくれました。来年のメンバーに引き継がれていくことでしょう。

《花いっぱい活動》11月11日



学校の顔、玄関にプランターがたくさん置かれているのを多くの人が知っていることだと思います。あの花は、1年生



のみなさんが、地域(姫方)の皆さんと一緒に花植えをして並べてくれました。その後も、交代で水やりをして成長を見守ってくれています。卒業式の頃にはたくさんの花を咲かせて、3年生の門出をお祝いできることと思います。

《全校集会》11月19日

「あなたの周り、きれいですか？」

今日は「身の回りの環境を大切にすること」について考えてみましょう。

みなさん、「割れ窓理論」を知っていますか？

窓が1枚割れたまま放置されると、やがて他の窓も割られ、街全体が荒れてしまう——そんな現象を指す言葉です。小さな乱れを見過ごすと、人の意識が緩み、さらに大きな問題が起きやすくなるのです。

実際、この理論で街を変えた都市があります。それがニューヨーク。1990年代、犯罪が多く、地下鉄や街中は落書きやゴミだらけでした。そこで市は「クリーン化プログラム」を開始。地下鉄の落書きを徹底的に消し、ゴミを減らし、軽犯罪を厳しく取り締まりました。結果、数年後には犯罪率が大幅に下がり、街は安全で美しくなったのです。

では、私たちの学校や地域はどうでしょう？廊下にゴミが落ちている、机に落書きがある、靴箱が乱れている…。「まあいいか」と見て見ぬふりをしていませんか？

逆に、誰かがゴミを拾ったり、乱れを整えたりすると、「自分もやろう」という気持ちが広がります。環境を大切にすることは、自分を大切にすること。きれいな教室で勉強する方が気持ちいいですよね？整った環境は心を落ち着け、安心感を与えます。これは学校だけでなく、家や地域でも同じです。

今日からできること、あなたなら何をしますか？

・ゴミを見つけたら拾う・自分の使った場所をきれいにする・壊れたものや乱れを見つけたら先生や仲間に知らせる などが考えられるでしょうか。

小さな行動が、未来を変えます。ニューヨークを変えたのは特別な人ではなく、普通の人々の積み重ねでした。私たちも同じです。

「きれいな環境は、きれいな心を育てる」

みんなで力を合わせて、学校をもっと気持ちのいい場所にしていきましょう。

《挨拶運動&夢講話》10月8日

サガン鳥栖の高橋義希さん、ウイントスくんと一緒に朝の挨拶運動に取り組みました。生徒の皆さんには、いつもの何倍ものいい笑顔が見られました。



その後、体育館に場所を換え、お話を聴きました。高橋さんは御自身の経験から、失敗を乗り越えることの意味と夢を持つことの大切さについて語ってくださいました。

○小5時代 PKをはずして…！

「一つの失敗って皆さんもこれまで中学生なるまでにいろいろ経験したと思います。その失敗ってきっと意味があったと思う…」 小学校5年生の時サッカーの試合に失敗したけれど、その経験から「失敗は終わりじゃなく、自分次第で良いものに変えられる」と学んだ。

○中3時代 「人生最大の試練」に直面！

「何事も一生懸命やることってすごい大切」

高校受験についての話。勉強が苦手だった自分は、スポーツ推薦で高校に入学するために勉強が必要だった。



なんとかしなければと思い、毎朝図書館で勉強に取り組んだ。その努力を見た英語の先生が毎朝教えてくれるようになり、「好きなこと以外のことでも頑張ることによって誰かが見ていて手を差し伸べてくれる」ことを学んだ。

○応援される人に…「宿題だけは必ずやってました」

「勉強はすごい嫌いでした。でもなぜやってたか？小学校の先生との約束だったからです。」「義希はサッカーを頑張ってすごいと思う。けどね、例えば宿題やってこない。挨拶できない。掃除の時間さぼってる。こういう人を応援できるかな？」と言われたことが強く心に残っている。先生にそのことを教えてもらってから、「宿題・挨拶・掃除」はさぼらず続けた。人から応援されるために生活態度が重要だと学んだ。それが非常に良かったなと思いますし、今でもその言葉というのは残っていて、それを大切にして、やっています。

○高3時代 夢に向かって

「高校3年生に夢を持ちました。めちゃくちゃ遅いと思いますけど…」 高校3年生でプロサッカー選手になりたいと決意し、そこから練習や試合の取り組み方が変わった。夢を持ってからサッカー選手になるために何をすべきかを考えるようになった。夢や目標を明確にすることで、自分自身がそれまでとガラリと変わる。

○中学生へメッセージ

「いろんなことに興味を持ってその中から一つ大好きなものを見つけてください」 好きなことが仕事になれば幸せ。だから、今はたくさんのこと挑戦して「大好き」を見つけてほしい。

《ようこそ！先輩！～卒業生 井上昂治さん》12月9日

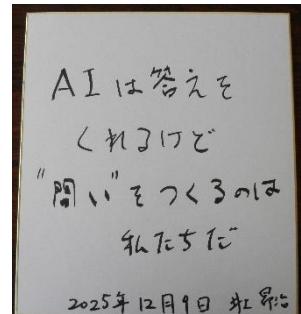
本校を卒業し、現在は、京都大学で助教としてお勤めの井上さんのお話を聞く機会がありました。講演の主題は「AI の仕組みと未来について」でした。AIの基本的な仕組み、AI が大量のデータから学習する過程。AI は入力されたデータに対して膨大な計算を行い、正しい答えを出せるように調整されていくという原理が説明されました。AIは何でも答えてくれるが、質問しなければ答えてくれないというAIの限界。AI は人間の代わりになるものではなく、人間をサポートするツールであるということ。AI の研究は長い歴史があり、多くの試行錯誤を経て現在の形になったそうです。



AIの作り方は解明されたが、これからはAIをどう使うかが重要であり、それは研究者だけでなく一般の人々も関わる課題であることが強調されました。

最後に、井上さんは自身の経験から、失敗を恐れずにチャレンジすることの大切さを伝えてくださいました。井上さん自身も、人間同士が理解し合い、対立を減らすようなコミュニケーションを手助けするAIの開発にチャレンジし続けていかれることと思います。

令和7年はみなさんの頑張りはもちろん、たくさんの人の出会いにあふれた一年でした。来年も笑顔と希望をもって、新しい一步を踏み出しましょう。



2025年12月9日 井上昂治